

# IDL 6.3 新機能紹介

IDL6.3 はパワフルかつ新しい核となる可視化/解析機能や、複数のソフトウェア環境で IDL を利用するための新機能を提供します。

## 1. IDL Connector Objects(IDL 機能の組込)

Java と COM アプリケーションに IDL の機能を組み込むために、IDL Connector Objects が導入されました。わずかなプログラミングで Java と COM アプリケーション内からの IDL コマンドの実行及び変数の操作が簡単にできるようになりました。

## 2. IDL - IDL Bridge(複数タスクを同時に動作させる機能)

IDL - IDL Bridge が導入され、個々の IDL セッションに対して並列にタスクを割り当てることができるようになりました。バックグラウンドで「重い」タスクを動作させ、メインセッションにその他のタスクを動作させたいというときに非常に有効です。

## 3. ツリーウィジットのドラッグ&ドロップ機能

ツリーウィジットに対してドラッグ&ドロップ機能が新しく追加されました。ウィンドウにアイコンをドラッグ&ドロップすることで画像を表示する等、より直感的な操作が可能なアプリケーションを開発することができます。

## 4. IDL Export Bridge Assistant モジュール(有償)

Export Bridge Assistant モジュールは IDL オブジェクトに対するラッパーを自動的に作成し、IDL のパワフルな分析/可視化機能を Java/COM のアプリケーションに簡単に組み込むことができます。

## 5. iVector(ベクトルデータの可視化)

IDL iTools に iVector が導入されました。様々な種類のベクトルが素早く簡単に表示でき、ベクトルデータを画像やマップデータに重ね合わせて表示することができます。

## 6. 新しいハードウェア・プラットフォームへの対応

Windows XP 64-bit、Solaris 10、Linux Redhat Enterprise 4 に対応し、Mac OSX の大容量ファイルもサポートしました。

## 7. その他の新機能

### 🔧 可視化機能の拡張

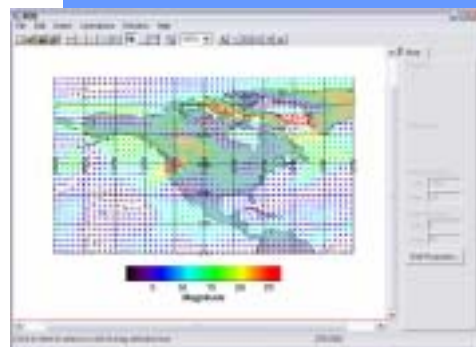
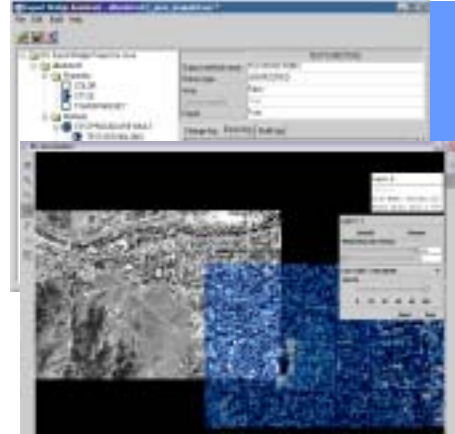
- マルチモニタサポート
- テキストレンダリングに対するパフォーマンスの向上

### 🔧 新しいフィルタの追加(強化された画像・信号処理機能)

- Impulse Response フィルタ
- Canny Edge Detection フィルタ
- Butterworth フィルタ

### 🔧 新しいファイルフォーマットへのサポート

- HDF5 ファイルの読込・書込機能の拡張
- Motion JPEG 2000 ファイルのサポート
- DICOM Network Services Module API の導入



IDL6.3 に関してのご質問、お問合せは下記までお願いします。

ジクー・データシステムズ株式会社 画像ソリューションユニット

TEL:03-3556-3048 / FAX:03-3556-3001 / email:itt@jicoux.com